

レール絶縁部に対応した 脱線防止ガード

Check Rail for Rail Electric Insulated Joint

概要

レール絶縁継目部付近等で脱線防止ガードが不連続になっている箇所においては、脱線防止効果が低下する可能性があります。

本展示では、バラスト軌道のレール絶縁継目部付近に後施工可能な脱線防止ガードを紹介します。

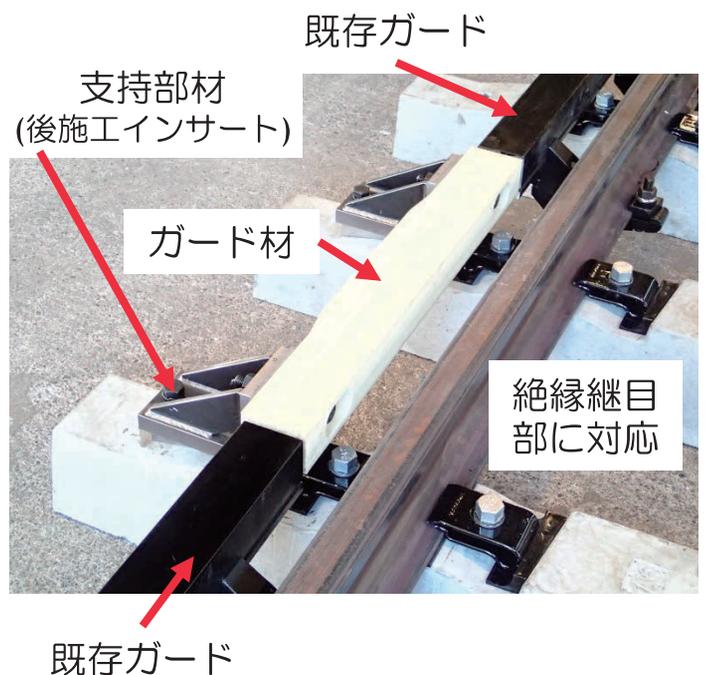
特徴

- 既存のPCまくらぎに埋め込みインサートを後施工して取り付けるため、国内で流通している大部分のPCまくらぎに対応できます。
- ガード材は合成まくらぎ等に用いられるガラス長繊維補強発泡ウレタン樹脂製であり、電気絶縁性に優れています。
- 車輪接触面には圧縮強度が高い板材を貼り付け、静的載荷試験により局所的な食い込みが発生せず、強度に問題がないことを確認しています。
- レールとの水平間隔は間隔材により調整することが可能です。

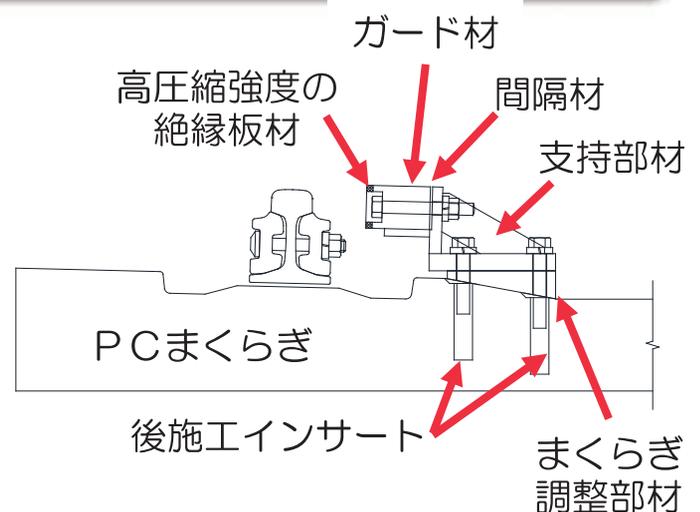
用途

- レール絶縁継目部付近の脱線対策用

■ 構造の外観

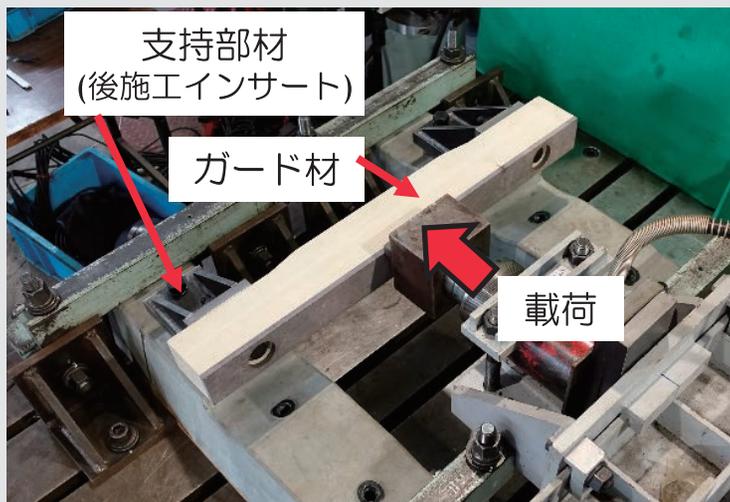


■ 構造詳細

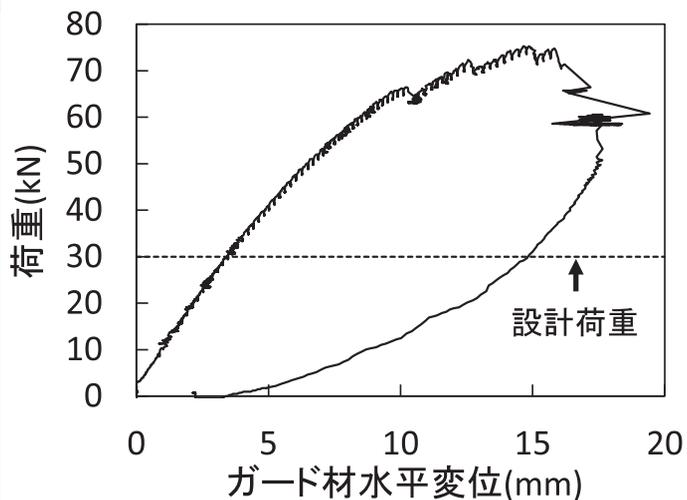


特許出願中

■ 静的载荷試験による強度評価



静的载荷試験状況



静的载荷試験の荷重・変位関係

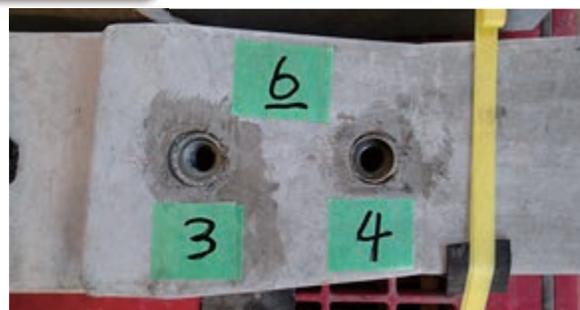
■ 基本仕様

項目	仕様
レール種別	JIS 50kgN
まくらぎ間隔	600mm
脱線防止ガード	JRS GTG-5 相当品
絶縁抵抗値 (乾燥状態)	5MΩ以上 (DC500V)

■ 施工手順



① 既存まくらぎに穿孔



② 後施工インサートの施工



③ 既存ガード調整・支持部材とガード材を取り付け